
自治会の“回覧・連絡・集計”をスマホで簡単に

～ 災害時には地域でつながる「地域連携基盤」で情報共有 ～

2026年4月吉日
株式会社フィールド

役員の負担を減らし、住民にも便利。

役員の
負担を軽減！

日常連絡と災害時の安否確認を**境目なく**。

住民にも
便利！

平時（日常利用）



災害時（いざという時に）



電子回覧板を
全住民に一斉送信

紙の回覧板が不要に！
すぐに全員へお知らせ。



出欠確認や
総会議題賛否確認

アンケート機能で
簡単に集計・共有。



グループトークで
情報共有

役員や班長、各グループで
スムーズに連絡・共有。



使い慣れたアプリで
日常も災害時も
すぐにつながる！



安否確認で
要救助者を即時把握

回答結果が地図や一覧で
すぐにわかる！



要救助
あり！



行政や支援団体への
支援要請が簡単

必要な情報をまとめて送信。
迅速な支援につながる！



インフラ復旧情報を
直接取得

停電・断水などの情報を
リアルタイムでお届け！



いつもの連絡が、いざという時の力になる。

地域の安心・安全を、ミテルライフで。



電子回覧板・お知らせの仕組み

管理者が住民へお知らせを一斉またはグループごとに発信。住民が開くと既読通知が自動送信され、管理者は個人別の未読・既読状況を確認できます。

① 管理者が住民にお知らせを発信

「今週は防犯パトロールです」や
「市役所からののお知らせです」や
「資源回収日は2日です」等を、
一斉もしくはグループごとに発信できます。



お知らせを作成

タイトル

今週は防犯パトロールです

本文

今週の土曜日(5/11)は
防犯パトロールを実施します。
集合時間: 19:00
集合場所: 自治会館前
ご協力をよろしくお願いします。

送信先

☒ 全体に送信

☐ グループを選択して送信

送信

お知らせの例

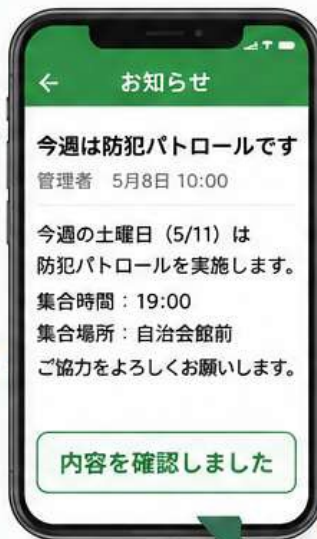
- ・今週は防犯パトロールです
- ・市役所からののお知らせです
- ・資源回収日は2日です
- ・総会のお知らせ
- ・イベントのご案内 など

一斉
送信



② 住民はお知らせを開くと 自動で既読通知が発信

住民がお知らせを開くと、
管理者に自動で既読通知が届きます。



内容を確認しました

開くだけで
簡単!



③ 管理者は住民の未読・既読を 個人別で確認できる

誰が読んだか・読んでいないかを
個人別に一覧で確認できます。

お知らせ一覧

すべてのお知らせ ▼

今週は防犯パトロールです

送信日時: 5月8日 10:00

既読 18/25人

既読状況 (25人中)

● 既読 (18) ● 未読 (7)

名前	グループ	既読状況	既読日時
山田 太郎	A班	既読	5月8日 10:02
佐藤 花子	A班	既読	5月8日 10:03
鈴木 一郎	B班	既読	5月8日 10:05
田中 美咲	B班	未読	—
高橋 健	C班	未読	—
...	...	...	...



未読者には再通知や
確認の連絡も簡単に!



一斉連絡も、グループ連絡も、既読確認もこれひとつで簡単・確実!



アンケートで、意見をカンタン収集・集計！

1 管理者がアンケートを発信

一斉またはグループごとにアンケートを発信できます。

総会に出席しますか？
花壇整備に参加しますか？
1号議案に賛成ですか？

アンケート

総会に出席しますか？

花壇整備に参加しますか？

1号議案に賛成ですか？



全住民



Aグループ



Bグループ

管理者



お知らせと同じように、簡単にアンケートを発信できます。

2 住民が回答・自動で送信

住民はスマホからカンタンに回答。
回答内容は自動で管理者に送信されます。



アンケート回答

Q1. 総会に出席しますか？

Q2. 花壇整備に参加しますか？

Q3. 1号議案に賛成ですか？



回答すると、自動で管理者に送信されます。



3 管理者が集計・結果を確認

集計値や個人別の回答結果をリアルタイムで確認できます。

Q1. 総会に出席しますか？



回答数 75

Q2. 花壇整備に参加しますか？



回答数 75

個人別回答結果

名前	Q1 総会	Q2 花壇整備	Q3 1号議案
田中 太郎	出席する	参加する	賛成
鈴木 花子	欠席する	参加する	反対
佐藤 一郎	出席する	参加しない	賛成
山本 美智子	未定	参加する	賛成
...			...

集計も個人別確認もすぐにできる！



集計値で全体の傾向を把握！
個人別で細かく確認も可能！

アンケート機能のメリット



カンタン・スピーディー

スマホからすぐに回答でき、素早く集計！



住民の声をしっかり反映

みんなの意見を可視化して、より良い運営に！



安心・確実

回答内容は自動送信で、漏れなく確実に集まります！



緊急時も、ちょっとした困りごとも、 通報先を選んでSOS発信！

簡単操作で、必要な人にすぐ伝わる。みんなで助け合える地域に。



- 1 通報先を選ぶ
- 2 内容を入力する
- 3 SOSを発信！
すぐに関係者に通知されます

こんなときに使えます！

緊急時の例



急に体調が悪くなった



災害で動けなくなっている



認知症の家族がいなくなった

ちょっとした困りごとの例



誰か電球を替えてください



買い物ついでに重いお米を買ってきてくれませんか？



庭の草むしりを手伝ってほしいです

SOS発信の流れ

- 1 通報先を選ぶ
- 2 内容を入力する
- 3 SOSを発信！



24時間で削除される トークグループが自動作成！



関係者だけで
すぐに会話！

24時間で
自動削除される
ので安心！

個人情報は
残りません

SOS機能のメリット



すぐに伝わる
選んだ相手に
一斉に通知！



みんなで助け合える
地域のつながりで、
早く対応できる！



安心・安全
必要な人だけが
情報を共有！



使いやすい
かんたん操作で
誰でも使える！

困った時は、お互いさま。
地域の助け合いを、もっと身近に。



安否確認

みんなの安否をすばやく確認、必要な人をすぐに支援！

1 組織管理者が一斉に 安否確認を送信

災害時などに、組織管理者が
全住民やグループに一斉送信します。



2 住民が安否を「はい」か 「いいえ」のボタンをタップ

住民は、簡単な操作で安否を回答。
位置情報やコメントも送信できます。



3 組織管理者が回答集計結果を確認し、 要支援者を素早く見つける

自動で集計され、未回答者や「いいえ」と回答した
人をすぐに把握できます。

安否確認 集計結果

総数	無事（はい）	要支援（いいえ）	未回答
125人	98人	7人	20人

名前	班	安否状況	回答時間	コメント
山田 太郎	A班	はい	09:02	自宅にいます
佐藤 花子	A班	はい	09:03	家族も無事です
鈴木 一郎	B班	いいえ	09:04	建物が倒壊…
田中 美咲	B班	はい	09:05	避難所にいます
高橋 健	C班	未回答	-	-

「いいえ」や未回答の人をすぐに把握！
必要な支援に素早くつなげます。

4 班長が担当グループの安否を 確認して助けに行く

班長は担当グループの状況を確認し、
「いいえ」の人や未回答の人のもとへ
助けに向かいます。



安否確認の
メリット



すばやく
安否確認ができる



簡単操作で
全員が回答しやすい



要支援者を
すぐに特定できる



地域全体で助け合い、
被害を最小限に



日頃からのつながりが、
いざという時に
大きな力になります。

■ アプリ画面に1例

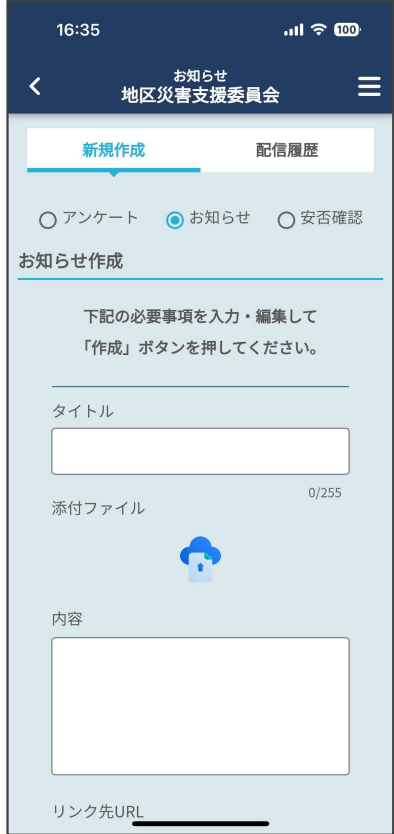
管理者側

メニュー画面



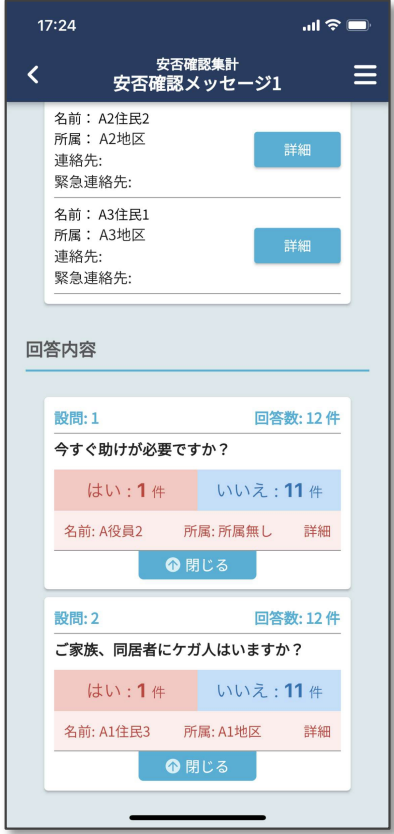
管理者側

メッセージ送信画面



管理者側

回答結果集計画面



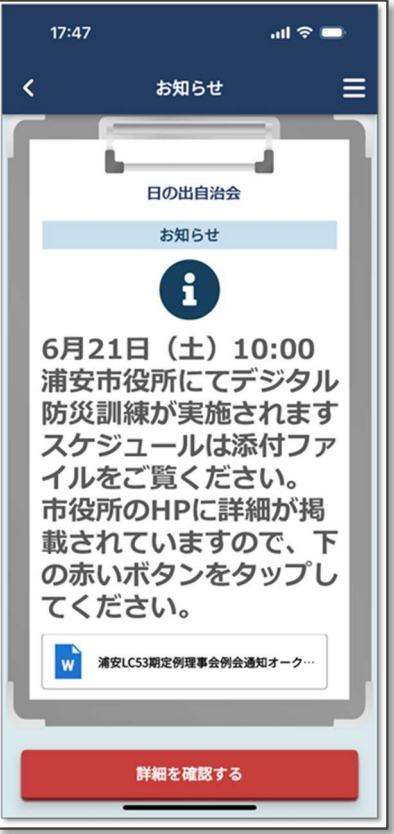
住民側

安否確認画面



住民側

お知らせ画面



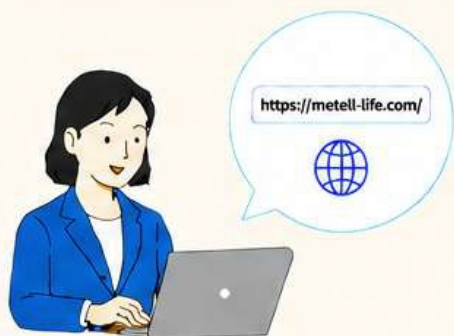


ミテルライフ 導入の流れ

組織担当者

1 ミテルライフの利用申請

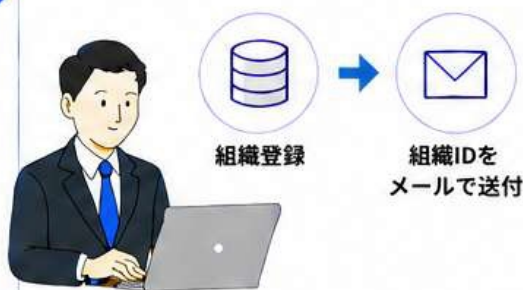
- ・ <https://metell-life.com/>で試用申込みを行います



組織担当者

2 組織の初期設定

- ・ 組織を登録する
→ 完了後、組織担当者に組織IDをメールでお知らせする



組織担当者

3 ミテルライフの利用登録

- ・ ミテルライフのインストール
→ 利用登録
→ 組織IDを元に組織に参加する



組織担当者

4 権限付与

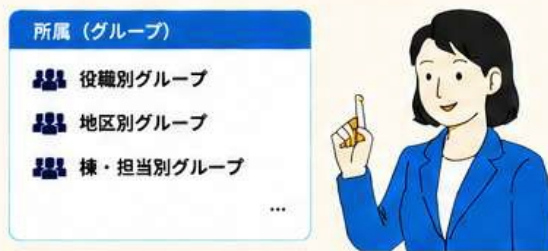
- ・ 組織担当者に管理者権限を付与



組織担当者

5 所属（グループ）を作成

- ・ ミテルライフ上の組織に所属（グループ）を作成する



※所属とは、役職・地区、棟・担当など、メッセージ送信時に分けたいグループのこと

組織担当者

6 メンバーに組織への参加を促す

- ・ メンバーに組織IDをお知らせする



メンバー

7 メンバーが組織へ参加する

- ・ 組織IDを元に組織へ参加する
(この時、自分に該当する所属を選択)



組織は以下の3階層に分かれる



≡ 導入は「できる人から」スタート ≡

STEP 1 役員＋希望者で運用を試す



- ✓ 役員や希望者で使い勝手を確認
- ✓ メッセージ配信や安否確認を試す
- ✓ 運用ルールや手順を整える

STEP 2 住民へ周知して任意参加



- ミテルライフのご案内
- いつでも連絡が届く
 - 安否確認がかんたん
 - 無料で使えます
 - 任意で参加できます

- ✓ 広報や回覧板、HP等で住民へご案内
- ✓ 希望する人がアプリをダウンロードして参加
- ✓ 任意参加なので、気軽に始められる

紙とアプリを並走 → 定着したら移行

導入初期～定着前

紙とアプリを並走して運用

紙（回覧・掲示など）



アプリ（ミテルライフ）



紙を使う人も、アプリを使う人も
どちらも大切に

定着が進む

アプリ利用者が増え、利便性を実感



「便利」「安心」と感じる人が増えて、
自然とアプリ中心に

定着後

アプリ中心に移行



必要に応じて紙の案内は最小限にし、
アプリでの連絡・安否確認を基本に

ミテルライフ利用料は1自治会で

月額

1,000 円 (税別)

初期登録費用

18,000 円
(税別)

以下が含まれます

アプリ初期設定
(組織登録)



アプリの初期設定と
組織登録を行います

導入説明会
45分



使い方や活用方法を
ご説明します



導入はかんたん・安心サポート! わからないことがあればいつでもご相談いただけます。

内閣府 中央防災会議 防災基本計画で示されている三者連携

「自助・共助・公助」を効果的に組み合わせ、災害に強い地域・社会をつくるため、住民（自助・共助）・民間事業者・行政が連携することが重要と示されています。

三者連携のイメージ



それぞれの強みを活かし、連携・協力することで、災害時の対応力が向上します

メリット	デメリット (課題)
 情報・資源・人材を共有でき、災害時の対応力が向上	 情報共有や役割分担の調整に時間やコストがかかる
 地域のつながりが強化され、助け合いの輪が広がる	 連携の主体やリーダーシップが不明確だと、取組が進みにくい
 民間の技術やノウハウを活用でき、効率的・効果的な防災対策が可能	 情報の取扱いや個人情報の保護に配慮が必要

ポイント



平常時からの対話・信頼関係の構築が、いざという時の迅速な連携につながります。

ミテルライフなら地域連携が簡単にできる！ 地域全体で災害対応に力を発揮！



地域のつながりと情報の力で、いざという時にすぐ動ける！



ミテルライフで、地域の絆が力に変わる！ 安心・安全なまちづくりを実現します

■ よくある質問

Q1 ミテルライフとは何ですか？

ミテルライフは、自治会、老人クラブ、社会福祉協議会、地域団体、企業など、さまざまな組織の運営を支援するアプリです。
電子回覧板のような日常連絡から、アンケート、安否確認、緊急時のSOSまで、地域や組織のつながりを支えることができます。
また、単なる連絡アプリではなく、複数の組織が連携しやすい仕組みを持っている点が大きな特長です。

Q2 他の連絡アプリと何が違うのですか？

最大の違いは、組織運営に必要な機能に絞っていて、しかも組織同士が連携しやすいことです。
雑談中心のアプリではなく、回覧、確認依頼、アンケート、安否確認など、組織で必要な連絡に向いています。
さらに、1人が複数の組織に参加できるため、自治会、老人クラブ、社協、見守り団体などをまたいだ連携にも使いやすい設計です。

Q3 どんな団体に使えますか？

自治会、町内会、老人クラブ、社会福祉協議会、ライオンズクラブ、地域ボランティア団体、企業、家族など、さまざまな組織で使えます。
人数の多い団体だけでなく、小規模なグループでも活用できます。

Q4 高齢者でも使えますか？

はい。ミテルライフは、老人クラブの皆さんと一緒に開発し、高齢の方でも使いやすいシンプルさを重視して設計されています。
たとえば、安否確認やアンケートは「はい」「いいえ」などのワンタップ回答ができるため、複雑な操作が苦手な方にも使いやすいです。

Q5 どんな機能がありますか？

主な機能は、組織内連絡、電子回覧板、アンケート、ワンタップ回答、安否確認、SOS発信、トークグループ作成などです。
平時の運営にも使えますし、災害時や緊急時にもそのまま活用できます。

Q6 災害時にはどう役立ちますか？

災害時には、安否確認や一斉連絡を迅速に行うことができます。
平時から使っているアプリをそのまま使えるので、いざという時に「初めて使う仕組み」になりません。
これが非常に大きな強みです。

Q7 安否確認はどのように行うのですか？

管理者や役員が対象者に向けて安否確認を送信し、受け取った人は「はい」「いいえ」などをワンタップで回答できます。
これにより、誰が無事か、誰が未回答かを迅速に把握しやすくなります。

Q8 SOS機能とは何ですか？

SOSボタンを押すと、事前に設定した連絡先に一斉でメッセージが送られ、同時に関係者が参加する専用のトークグループが自動で作られます。
そのため、緊急時に関係者がすぐ同じ場で情報共有できます。

Q9 SOS機能はどんな時に使うのですか？

たとえば、認知症の家族が行方不明になった時、家族がSOSを発信し、関係者全員で捜索しながら、目撃情報や対応状況をリアルタイムで共有できます。
また、急な体調不良や助けを求めたい時にも活用が想定されています。

Q10 家族でも使えますか？

はい。ミテルライフでは家族単位で「家族組織」を作ることができます。
有料で利用している組織に参加しているメンバーは、追加費用なしで家族組織を作成できます。
離れて暮らす家族との連絡や見守り、災害時の安否確認にも役立ちます。

Q11 1人で複数の組織に参加できますか？

はい、できます。
これはミテルライフの大きな特長の一つです。
たとえば、ある人が自治会、老人クラブ、防災組織、家族組織のすべてに参加するといった使い方ができます。

Q12 組織同士の連携とはどういうことですか？

ミテルライフでは、親組織・子組織の関係や、人が複数組織に参加することで、組織同士が自然につながります。
たとえば、自治会と老人クラブ、社協と地域団体などが、無理なく連携しやすくなります。

Q13 地域連携基盤とは何ですか？

地域連携基盤とは、自治会、老人クラブ、社協、事業者、支援団体などが、平時からゆるやかにつながり、必要な時に迅速に連携できる状態をつくる考え方です。
ミテルライフは、その基盤を支える実務的なツールとして使えます。

Q14 平時にも使えるのですか？

はい。むしろ平時に使うことが重要です。
回覧、連絡、アンケート、出欠確認など、日常で使っているからこそ、災害時にも迷わず活用できます。
平時利用から災害対応へ自然につながるのが強みです。

Q15 LINEと何が違うのですか？

LINEは便利なコミュニケーションツールですが、雑談も含めた自由なやり取りが中心です。
一方でミテルライフは、組織の運営や地域連携に必要な機能に絞っており、情報整理や管理がしやすい点が違います。
また、組織単位での運用や、安否確認・SOSなどの仕組みも大きな違いです。

Q16 個人情報は大丈夫ですか？

ミテルライフは、米国防総省やCIAも採用しているAWS (Amazon Web Services)を利用しています。
物理的な侵入を防ぐ最高レベルのサーバーで稼働し、設計思想はプライバシーに配慮した考え方を重視しています。
地域で使う仕組みだからこそ、必要以上に個人情報を広げないことが大切だと考えています。

Q17 導入すると管理者の負担は増えませんか？

むしろ、管理者の負担軽減を目指しています。
紙の回覧、電話連絡、個別確認などに比べて、一斉送信や回答確認がしやすくなります。
特に「誰に連絡したか」「誰が回答したか」が見えやすくなる点は、実務上の大きな助けになります。

Q18 利用料はいくらですか？

1団体あたり月額1,000円（税別）です。
利用人数は300人までで、300人を超える場合は100人につき500円が追加となります。
別途、初期費用として18,000円（税別）がかかります。

Q19 なぜこんなに低価格なのですか？

ミテルライフは、多くの地域や団体に広く使ってもらうことを重視しているため、導入しやすい価格設定にしています。
特に地域連携では、費用が高いと参加団体が広がりにくいため、低価格で続けやすいことが重要だと考えています。

Q20 導入の第一歩は何ですか？

まずは、役員や中心メンバーの少人数で使い始めることが現実的です。
その中で、回覧、アンケート、安否確認などを試し、使い方に慣れてからメンバー全体へ広げるとスムーズです。
「一度使うと便利だった」という実感が広がりの一歩の力になります。

Q21 ミテルライフは何を目指しているのですか？

単なる連絡アプリではなく、地域や組織が平時からゆるやかにつながり、災害時や緊急時にも支え合える状態をつくることを目指しています。
誰もが参加しやすく、続けやすい地域連携の土台になることが目標です。

Q22 社協や支援団体が関わる意味は何ですか？

自治会や老人クラブだけでは届きにくい部分を、社協や支援団体、地域企業などが補い合うことで、地域全体の支え合いが強くなります。
ミテルライフは、そうした多様な団体が関わる地域連携基盤を形にしやすくします。

Q23 導入すると災害対策が完成するのですか？

いいえ。ミテルライフを入れれば自動的に防災体制が完成するわけではありません。
ただし、平時の連絡や確認を積み重ねることで、災害時に使える実践的な基盤をつくることができます。
大切なのは、普段から使い続けることです。

Q24 まず試してみることはできますか？

はい。まずは小さく試し、使い勝手を確認しながら進めるのがよい方法です。
実際に触ってみると、紙や電話に比した便利さが分かりやすくなります。
本書最終ページのQRコードで試用申込が出来ます。



株式会社フィールド

千葉県浦安市高洲8-1
電話：047-307-9593
<https://metell-field.com/>
Mail：info@metell-life.com

ミテルライフ特設サイト

<https://metell-life.com/>



試用お申込み

まずは数名で試してみたい

<https://metell-life.com/subscription/>



説明会お申込み

まずは話だけでも聞いてみたい

<https://metell-life.com/seminar/>

